

平成25年度
事業報告書

学校法人 平成医療学園

目 次

I. 法人の概要	1
1. 名称・所在地	1
2. 建学の理念	1
3. 沿革	1
4. 設置する学校	2
5. 入学定員・入学者数等	2
6. 理事・監事・評議員	4
7. 組織	5
8. 教職員数	5
II. 事業の概要	6
1. 基本的な方針	6
2. 事業の実施状況	6
3. 取得可能な学位又は称号	12
4. 学生生徒等納付金	13
5. 卒業及び就職等の状況	15
6. 国家試験の受験状況	16
III. 財務の概要	17
1. 財政運営	17
2. 資金収支計算書	18
3. 消費収支計算書	19
4. 貸借対照表	20
5. 基本金	21
6. 財産目録	22
7. 主な財務比率	24
8. 施設設備の整備状況	24

I. 法人の概要

1 名称・所在地

名 称	学校法人平成医療学園
理 事 長 名	岸野 雅方
所 在 地	〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎7-7-17
電 話 番 号	06-6375-7773
認 可 年 月 日	平成13年 3月 30日 大阪府知事認可 (準学校法人) 平成22年 10月 29日 文部科学大臣認可 (学校法人)

2 建学の理念

学校法人平成医療学園は、平成12年4月に「全国柔整鍼灸協同組合」が母体となり、柔道整復、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧の施術を行っている治療家たちが、自らの後継者を自らの手で育てようという理念に基づき、厚生省（現厚生労働省）から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」を開設したことに始まります。

本学園は、「徳義の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会に伍して恥じぬ恒心をもつ、有徳の人材を育成する。」を目的として、発足当時から産・学が連携し、社会で必要とされる高度な知識と技術を身に付けた人間性豊かな「次代の医療人」の育成に努めています。

3 沿革

平成12年 4月	厚生大臣から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」を開設
平成13年 4月	大阪府知事から準学校法人の認可を受け、併せて、「平成柔道整復専門学院」を「平成医療学園専門学校」に名称変更
平成14年 4月	「平成医療学園専門学校」に鍼灸師科を設置
平成15年 4月	「平成スポーツトレーナー専門学校」開設
平成17年 4月	「横浜医療専門学院」開設
平成18年 4月	「平成医療学園専門学校」に東洋療法教員養成学科を設置
平成19年 4月	「横浜医療専門学院」を「横浜医療専門学校」に名称変更
平成21年 4月	「大阪産業大学附属歯科衛生士学院専門学校」を学校法人大阪産業大学から経営移管、校名を「なにわ歯科衛生専門学校」に名称変更
平成22年 3月	「平成スポーツトレーナー専門学校」廃校
平成22年 10月	文部科学大臣から「宝塚医療大学」設置認可
平成23年 4月	「宝塚医療大学」開学
平成26年 4月	「平成医療学園専門学校」に文化・教養専門課程日本語学科を設置

4 設置する学校

学校名	学校長名	所在地・電話番号	認可年月日
宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科	武田 功	〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷 緑ガ丘1 TEL：072-736-8600	平成22年10月29日
平成医療学園専門学校 医療専門課程 柔道整復師科 鍼灸師科 東洋療法教員養成学科 文化・教養専門課程 日本語学科	石田 武	〒531-0071 大阪府大阪市北区 中津6-10-15 TEL：06-6454-1500	平成13年3月30日
横浜医療専門学校 医療専門課程 柔道整復師科 鍼灸師科	伊藤 敦子	〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区 金港町9-12 TEL：045-440-1750	平成18年10月20日
なにわ歯科衛生専門学校 医療専門課程 歯科衛生士学科	雫石 聰	〒530-0011 大阪府大阪市北区 大深町2-179 TEL：06-6375-1400	平成20年12月2日

5 入学定員・入学者数等

◆ 宝塚医療大学

(平成26年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員
理学療法学科	40	54	160	185
柔道整復学科	60	63	240	198
鍼灸学科	60	13	240	59
合 計	160	130	640	442

◆ 平成医療学園専門学校

(平成26年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員
柔道整復師科 昼間Ⅰ部	60	29	150	75
柔道整復師科 昼間Ⅱ部	60	36	210	112
柔道整復師科 夜間Ⅲ部	30	20	90	56
鍼灸師科 昼間Ⅰ部	30	14	90	38
鍼灸師科 昼間Ⅱ部	30	24	90	87
鍼灸師科 夜間Ⅲ部	30	13	90	45
東洋療法教員養成学科	10	3	20	4
医療専門課程 小計	250	139	740	417
日本語学科 医療福祉系1年コース	20	0	20	0
日本語学科 進学1.5年コース	—	—	—	—
日本語学科 進学2年コース	20	4	20	4
文化・教養専門課程 小計	40	4	40	4
合 計	290	143	780	421

(注1) 平成25年度に、柔道整復師科昼間Ⅰ部の入学定員を30名から60名に、柔道整復師科昼間Ⅱ部の入学定員を90名から60名に変更。

(注2) 平成26年度に、日本語学科を設置。進学1.5年コースは、平成26年10月から入学者の受入れを開始予定。

(注3) 収容定員は、学年進行による。

◆ 横浜医療専門学校

(平成26年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員
柔道整復師科 昼間	60	58	180	167
柔道整復師科 夜間	60	39	180	143
鍼灸師科 昼間(1部)	30	25	90	65
鍼灸師科 昼間(2部)	30	7	90	34
鍼灸師科 夜間	60	10	180	42
合 計	240	139	720	451

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(平成26年5月1日現在、単位：名)

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員
歯科衛生士学科 昼間	72	78	216	212
歯科衛生士学科 夜間	36	40	72	76
合 計	108	118	288	288

(注1) 平成25年度に、歯科衛生士学科夜間を設置。

(注2) 収容定員は、学年進行による。

6 理事・監事・評議員

◆ 理事・監事

(平成26年5月1日現在)

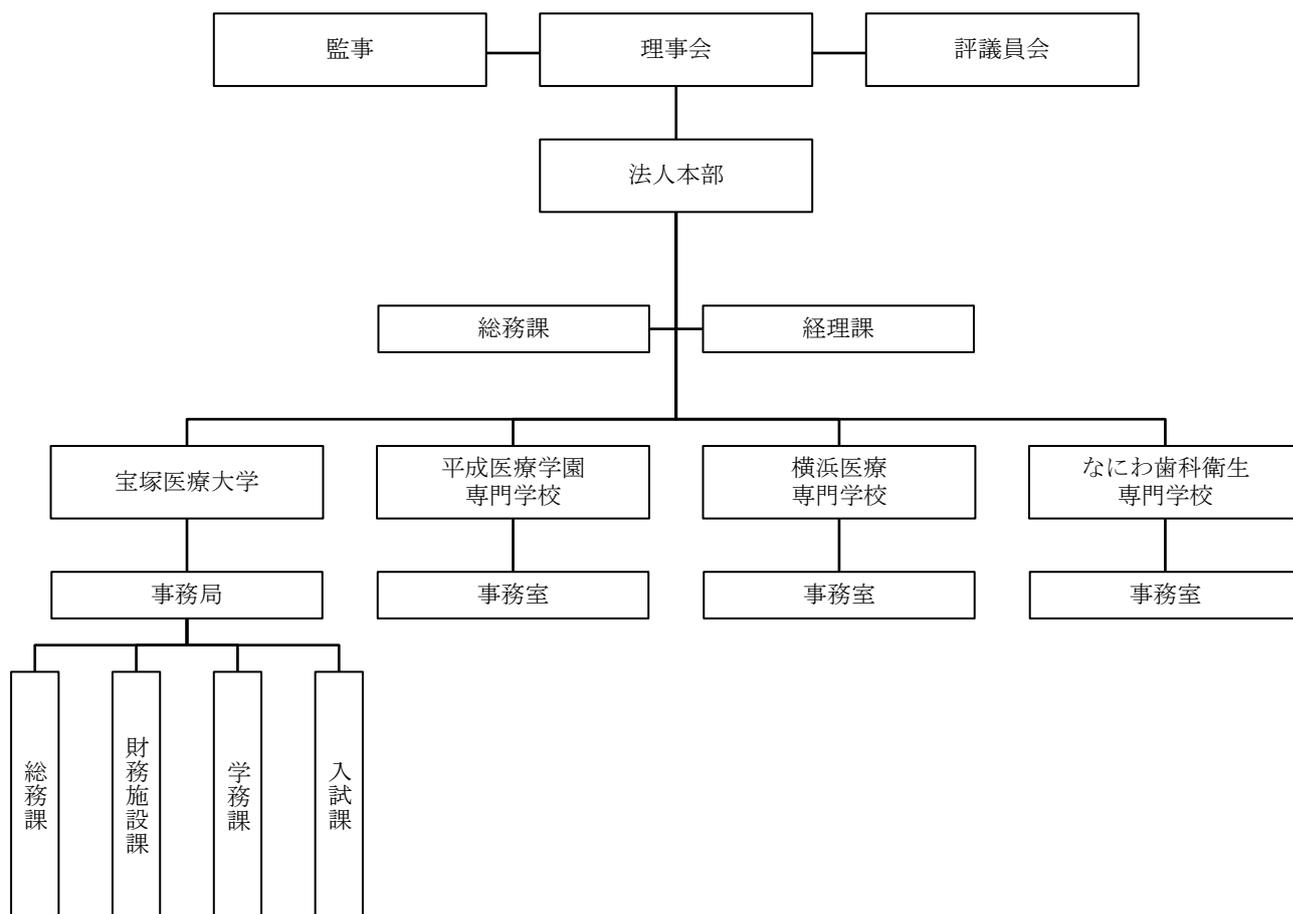
	氏名	就(重)任年月	備考
理事長	岸野 雅方	平成25年4月	全国柔整鍼灸協同組合理事長 学校法人福寿会理事長
常務理事	岸野 政子	平成25年4月	
理事	武田 功	平成23年4月	宝塚医療大学学長
	伊藤 敦子	平成26年4月	横浜医療専門学校校長
	岡田 光司	平成25年4月	なにわ歯科衛生専門学校顧問
	小原 教孝	平成25年4月	宝塚医療大学専任教員・教務部長
	中谷 裕之	平成25年4月	平成医療学園専門学校統括長
	浅谷 佐智子	平成25年4月	会社社長
	榊 典夫	平成25年4月	宝塚医療大学専任教員
	土江 直一	平成25年4月	団体職員
	西尾 明憲	平成25年4月	平成医療学園専門学校教員
	松川 保	平成25年4月	平成医療学園法人事務局長
監事	吉田 明代	平成25年4月	
	相馬 達雄	平成26年3月	弁護士
定数	理事10人以上15人以内、監事2人以上4人以内		

◆ 評議員

(平成26年5月1日現在)

	氏名	就(重)任年月	氏名	就(重)任年月
評議員	内野 勝郎	平成25年4月	岸野 雅方	平成25年4月
	小原 教孝	平成25年4月	北野 吉廣	平成25年4月
	岸野 佑宣	平成25年4月	榊 典夫	平成25年4月
	雫石 聰	平成26年4月	佐原 道啓	平成25年4月
	高木 保子	平成25年4月	塚原 康夫	平成25年4月
	梶原 知子	平成25年4月	土江 直一	平成25年4月
	竹本 晋史	平成25年4月	中谷 裕之	平成25年4月
	八谷 博邦	平成25年4月	西尾 明憲	平成25年4月
	松本 尚純	平成25年4月	西尾 頼政	平成25年4月
	吉道 公一朗	平成25年4月	林 康蔵	平成25年4月
	浅谷 佐智子	平成25年4月	松川 保	平成25年4月
	岡田 光司	平成25年4月	丸毛 伊佐子	平成25年4月
	勝浦 政夫	平成25年4月	吉田 洪先	平成25年4月
	岸野 政子	平成25年4月		
定数	23人以上31人以内			

7 組織



8 教職員数

(平成26年5月1日現在、単位：名)

	専任		非常勤者等	
	教員	職員	教員	職員
法人本部	0	9	0	1
宝塚医療大学	54	14	31	6
平成医療学園専門学校	25	15	70	3
横浜医療専門学校	20	12	36	3
なにわ歯科衛生専門学校	14	6	89	1
合計	113	56	226	14

(注) 専任教員には助手を含む。

II. 事業の概要

1 基本的な方針

本学園は、教育研究体制の整備充実を図るとともに、教育内容のより一層の改善・充実や施設設備の整備等を行うことによって、多様な社会の要請に応える有為な人材の育成に努めます。また、少子高齢化の進展に伴う18歳人口の減少等の社会状況の変化に的確に対応し、学園の円滑な運営を行い今後の更なる発展を期するために、入学者の確保や経営の効率化などにより財政基盤の着実な強化を図ります。

なお、平成25年度は、平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科の設置準備を進めるとともに、宝塚医療大学が学生受入れ3年目を迎え、なにわ歯科衛生専門学校夜間部が初めて学生を受け入れました。平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科については、平成26年3月14日に大阪府知事の設置認可を受け、平成26年4月1日に開校しました。

2 事業の実施状況

◆ 宝塚医療大学

開学3年目となる平成25年度は、本学の設置計画を確実に履行するとともに、学長の掲げる「学生中心主義」を指針として、教員組織及び事務組織の整備や教育・研究の充実を図りました。

入学者の確保については、ホームページのリニューアル、スクールアプリの運用開始、高校訪問の強化（延べ597回）など広報活動の強化に努めました。新たに九州地区での高校訪問を行ったほか、熊本県でのオープンキャンパス及びテレビCMの放映を行い、本学の知名度の向上に努めました。また、延べ24回の「出前授業」を実施するとともに、公開講演会として本学教員による「東洋医学講座（鍼灸医学の世界）」を実施し、鍼灸に対する認知度の向上を図りました。14回のオープンキャンパスと、15回の入学試験を実施した結果、平成26年4月の入学者は130名となりました。

就職支援については、学生の就職活動が本格化することに対応するため、キャリア教育委員会において、学生のキャリア意識の向上と就職先確保を目的とした就職支援に関する年間計画及び具体的な実施内容（案）を策定しました。また、理学療法学科では、不定期に実施するキャリア教育として、臨床現場の外部講師を招いての講演を5回開催しました。

大学設置認可時の留意事項については、専任教員の確保等に対応するため、柔道整復学科講師などの新規教員の採用を行いました。なお、未補充の分野（整形外科等）については、教員の全国公募を開始しました。

また、平成25年12月5日に、文部科学省大学設置・学校法人審議会学校法人分科会による「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」が実施されました。本調査の結果付された留意事項について、改善状況及び改善計画を文部科学省に回答しました。

教育の充実については、開学年度から実施している「授業評価アンケート」を継続して行い、その結果を教員にフィードバックすることで、授業方法の改善を図りました。

出席が常でない学生や成績不振の学生に対しては、チューター（担任）を中心に指導を行うとともに、オフィスアワーを利用した丁寧な学生指導を行いました。また、オリエンテー

ション等の機会を通して的確な単位修得ができるよう履修指導を行いました。

本年度の新しい試みとして、教育改善実施（FD）委員会が中心となって、新入生を対象に「高校と大学の連携に関するアンケート」を行い、その結果を基に、各学科の対応や学生支援についての報告会を実施しました。

研究の充実については、平成 25 年 10 月に第 2 回研究プロジェクト報告会として、「Dementia with lewy body における depression」、「運動・身体機能障害に関する包括的アプローチの検討—地域に密着した活動—」、「齧歯類を用いた神経系（運動器系と感覚器系）の形態学的観察」、「肺動脈内反射膨張波の解析：リハビリとの関連を含めて」の 4 つの課題について、研究内容等に関する発表会を実施しました。「科学研究費補助金」については、本学から 9 件（共同研究を含む。）の応募を行い、5 件が採択されました。

社会貢献については、平成 25 年 11 月に地域の社会福祉協議会の依頼を受け、本学教員が、東洋医学の診断法を利用した健康維持等について講演しました。12 月には、本学主催の公開講演会として「東洋医学講座（鍼灸医学の世界）」を実施しました。

また、平成 25 年 5 月から 6 月にかけて、「トライやるウィーク」事業として、周辺の中学校 3 校から、合計 20 名の生徒を受け入れ、地域教育機関との連携を深めました。

附属治療院では、柔道整復及び鍼灸の治療を通して、地域住民の健康の保持・増進に貢献しています。

このほか、地域主催の駅伝大会、周辺自治会主催の文化祭及び自治会総会等への本学施設の開放を行い、地域の活動に貢献しました。

学校教育法に定められている「認証評価」については、大学評価委員会が中心となって対象となる項目を整理し、資料等作成の担当部署等を定めました。

また、平成 26 年 3 月に本学の教育・研究の成果をまとめたものとして「宝塚医療大学紀要」の創刊号を刊行しました。

教育・研究用機器備品については、教育環境の充実のため、グラウンドの走路（110 メートル）、走り幅跳びで使用する砂場、器械運動で使用する鉄棒、国家試験対策等で使用するマークシートリーダー機器一式などを整備しました。

施設設備については、大講義室と中講義室（2 室）において、双方向に映像及び音声をやりと取りできる映像システムを整備しました。

◆ 平成医療学園専門学校

平成25年度は、スポーツや美容といった若年層のニーズに応じた分野への業務拡大を目指し、教育環境の整備に力を注ぎました。具体的には、平成25年度から特定非営利活動法人ジャパン・アスレチック・トレーナーズ協会の「アスレチックトレーナー認定資格」及び公益社団法人日本アロマ環境協会の「アロマセラピーアドバイザー認定コース」の認定校になり、本校のカリキュラムを履修することにより各認定資格の取得が可能となりました。

また、広報活動では、「ガンバ大阪」との提携関係から、特に高校生を対象に、ガンバ大阪クラブハウスでのスポーツトレーナーセミナーを開催するとともに、校舎壁面広告にガンバ大阪の選手を起用するなど、スポーツに興味のある入学志願者へのアピールを強化しました。

学生募集については、前年度より30名の入学者減となりました。これは、高校新卒者を中心とした若年層への募集活動を強化したものの約8%の増加に留まったこと及び社会人の入学者が減少したことが原因です。

来年度は入学定員の100%充足を目指し、学校訪問、治療所訪問の実施など広報活動の強化やスマートフォンの急激な普及による若年層の情報入手手段の変化への対応により、入学志願者の増加を図ります。

また、日本での就学に対応できる日本語能力を習得させることを目的として、平成26年4月

に文化・教養専門課程日本語学科を設置しました。同学科の新入生は、広報活動の遅れにより、平成26年4月入学の入学定員40名（医療福祉系1年コース20名、進学2年コース20名）に対して進学2年コース4名の入学となりました。今後、平成26年10月入学となる進学1.5年コースの入学者の確保に努めます。

国家試験の合格率は、本校では柔道整復師92.8%、はり師91.0%、きゅう師92.5%となりました。柔道整復師は全国平均を大幅に上回ったものの、はり師、きゅう師は全国平均とほぼ同じ合格率となりました。今後更に教育内容の改善・充実に努めます。

在学中や卒業後の就職・アルバイト先の支援については、更なる充実・強化を図るために、就職相談会を年2回開催し、生徒の要望に合った治療院とのマッチングの機会を提供しました。

卒業後の進路状況については、柔道整復師科では、就職者が67.0%、進学者が17.5%、その他が15.5%、鍼灸師科では、就職者が79.1%、進学者が3.0%、その他が17.9%で、卒業生の大部分は就職している状況です。今後も就職支援のより一層の充実に努めます。

施設設備については、特に劣化等が生じている椅子4教室分（120脚）の更新などを行いました。今後も、計画的に施設設備の整備を図っていきます。また、教育機器の更新など、学生からの要望にも配慮し、教育環境の改善を行いたいと考えています。

◆ 横浜医療専門学校

本校は、「医療を通じて社会に貢献できる専門職業人の育成」を目標に、医療の原点となる基礎科目授業の充実を図る等本校ならではの特徴ある教育に努め、優れた柔道整復師、鍼灸師を育成しています。

平成24年度に新設した鍼灸師科昼間1部は2期生を迎えました。午前9時から授業を開始する昼間1部の時間帯は、高校新卒者を含む若年層に受け入れられやすく、また、他学科の授業を午後に受講可能なため、柔道整復師と鍼灸師の資格の同時取得を目指すことができます。

広報活動では、特に高校生を対象に、「横浜 DeNA ベイスターズ」や「湘南ベルマーレ」との提携及び業務協力関係によるスポーツトレーナーセミナーを行いました。また、鍼灸師科では、美容鍼灸への取組みに係る広報活動を行いました。柔道整復師科については、前々年度、前年度に続いて昼間部の入学定員をほぼ100%満たすことができましたが、夜間部においては65.0%の充足率となりました。鍼灸師科については、昼間（1部）こそ83.3%の充足率でしたが、昼間（2部）は23.3%、夜間部は16.7%の充足率となりました。

国家試験の合格率は、柔道整復師97.1%、はり師96.8%、きゅう師96.8%で、柔道整復師の合格率が昨年の80.0%と比較すると大幅に上昇しました。また、はり師、きゅう師とも高い合格率を収め、どちらも全国平均を大きく上回る結果となりました。教務部に国家試験対策委員会を設置し、教員による徹底した繰り返し指導を行い、合格率の向上に努めた成果が出たものと思われませんが、今後更に教育内容を充実させていきます。

生徒に対する就職支援については、本年度も就職セミナーの実施や地域の治療院や求人企業等の関係者を一堂に集めての就職説明会の開催など、更に強化を図りました。

卒業後の進路状況については、柔道整復師科では、就職者が77.1%、進学者が2.9%、その他が20.0%、鍼灸師科では、就職者が83.9%、その他が16.1%となり、両科とも高い就職率となりました。今後も就職支援のより一層の充実に努めます。

施設設備については、教育環境を更に充実させるべく、平成26年度より使用することができるように校舎の2階を改修し、3教室（2教室：柔整科普通教室、1教室：柔整・鍼灸共用ゼミナール室）を増設しました。また、残り部分は予備教室として両科共用で有効活用できるように整備を行いました。

◆ なにわ歯科衛生専門学校

平成25年度は、夜間部を新設し、1期生として40名が入学しました。働きながら歯科衛生士の資格を取得することを目指しており、学生層は主に社会人からなります。昼間部より講義時間数が少ない中で、充実したカリキュラム編成となるよう取り組んでいます。また、仕事をしながら勉学する学生が大半であるため、心身のケアにも努めています。

国家試験については、模試を定期的に行うことで弱点科目を克服し、試験に慣れるよう指導を行いました。その結果、受験者66名中合格者は65名で、合格率は98.5%となり前年度より5.2%上昇し、全国平均を上回ることができました。

学生募集については、学校見学会や高校でのガイダンスに重点を置き、学校の雰囲気等を実際に体験してもらった上で出願に繋げるように努めました。その結果、昼間部は入学定員72名に対し志願者126名、夜間部は入学定員36名に対し志願者78名となり、最終的に昼間部78名、夜間部40名が入学しました。

卒業後の就職状況については、卒業生66名中就職希望者63名に対して求人数は11倍に達し、就職者は58名(92.1%)となりました。就職先の内訳は一般企業、病院や歯科診療所などです。今後も学生一人ひとりに対するきめ細かい進路指導を行っていきます。

また、学生数増加や施設設備の老朽化に対応するために、教育環境の改善を図りました。本年度は、教室の椅子160脚の更新、歯科用ユニット2台の追加設置などの整備を行いました。

◆ 法人本部

平成25年度は、平成25年8月28日付けで評議員の親族制限の変更等に関する寄附行為の変更認可申請を行い、平成25年10月1日付けで文部科学大臣の認可を受けました。また、平成25年12月25日付けで平成医療学園専門学校に文化・教養専門課程日本語学科を設置することに伴う寄附行為の変更認可申請を行い、平成26年3月14日付けで文部科学大臣の認可を受けました。あわせて、平成26年3月の理事会・評議員会において、組織規程の改正について承認を得ました。

また、平成25年4月に役員の大任等を行ったことに伴う文部科学省への届出を行いました。さらに、平成26年2月の理事会・評議員会において、平成25年10月31日付けで退任した金田正徳評議員の退任報告を行うとともに、平成26年2月28日付けで任期満了となる相馬達雄監事の重任、金田正徳氏の後任である栗石聡評議員の選任、平成26年3月31日付けで任期満了となる伊藤敦子理事の重任について承認を得ました。

本年度は、法人本部の移転や専門学校の臨床実習施設の設置等を目的として、平成25年9月に学校法人大阪産業大学から土地及び建物（大阪市福島区所在）を購入するとともに、平成25年11月にオリエンタルメディカルサービス株式会社へ法人本部の土地及び建物（大阪市北区所在）を売却しました。今後、購入した建物の整備等に着手する予定です。

平成25年12月5日には、文部科学省による「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」が実施されました。大学設置・学校法人審議会学校法人分科会の委員と文部科学省の事務官が学年進行中の宝塚医療大学を訪問し、認可時の留意事項の履行状況、経営の実態、施設等の整備の進捗状況等について調査が行われました。

財政運営については、財政基盤の強化を図るため、1人でも多くの入学者を確保すべく、インターネット等を活用した学生募集に注力しました。さらに、前年度に引き続き、エアコンの温度設定や使用時間の制限など節電への取組みや複写機の保守契約の見直し等を実施し、経費削減に努めました。

宝塚医療大学の学年進行が完成することに伴い、平成27年度より「私立大学等経常費補助金」の交付対象法人となるため、補助金の申請に向けた準備に着手しました。この補助金は、教職

員の給与費、教育と研究の経費等を対象とする一般補助と特定の分野や課程等に係る教育・研究の振興を図るための特別補助からなります。

平成25年4月22日付けで文部科学省より「学校法人会計基準の一部を改正する省令」が公布され、平成27年度以後の会計年度に係る会計処理及び計算書類の作成から適用されるため、この新会計基準の平成27年度実施に向けた準備に着手しました。これは、公教育を担う学校法人の経営状態について、社会により分かりやすく説明できる仕組みが求められたものです。

なお、平成25年度には、理事会を8回、評議員会を6回開催しました。主な協議内容は次のとおりです。

● 理事会

年	月	日	主 な 協 議 内 容
25	5	29	平成24年度平成医療学園決算（案）、平成24年度平成医療学園事業報告書（案）
25	5	29	平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科設置計画概要（案）、平成医療学園専門学校学則の一部改正（案）等、平成医療学園専門学校における校舎の用途変更（案）、平成医療学園寄附行為の一部改正（案）、横浜医療専門学校における校舎の用途変更（案）、その他
25	8	10	平成医療学園寄附行為の一部改正（案）、平成医療学園専門学校日本語学科の進捗状況報告、各学校の学生募集状況報告、その他
25	9	13	土地及び建物の購入計画、平成25年度平成医療学園補正予算（案）、その他
25	10	18	法人本部の土地及び建物の売却、法人本部の移転、その他
26	2	26	監事候補者の選出
26	2	26	平成25年度第二次補正予算（案）、平成医療学園専門学校、横浜医療専門学校及びなほ歯科衛生専門学校の校長の選任、理事の選任、監事の選任（報告）、評議員の選任及び退任（報告）、法人本部の土地及び建物の売却（報告）、「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」・「設置計画履行状況調査」の結果（報告）、各学校の学生募集状況（報告）、その他
26	3	25	平成26年度予算（案）、平成26年度事業計画（案）、組織規程の一部改正（案）、平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科の設置（報告）、各学校の学生募集状況（報告）、その他

● 評議員会

年	月	日	主 な 協 議 内 容
25	5	29	平成24年度平成医療学園決算（案）、平成24年度平成医療学園事業報告書（案）、平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科設置計画概要（案）、平成医療学園専門学校学則の一部改正（案）等、平成医療学園専門学校における校舎の用途変更（案）、平成医療学園寄附行為の一部改正（案）、横浜医療専門学校における校舎の用途変更（案）、その他
25	8	10	平成医療学園寄附行為の一部改正（案）、平成医療学園専門学校日本語学科の進捗状況報告、各学校の学生募集状況報告、その他
25	9	13	土地及び建物の購入計画、平成25年度平成医療学園補正予算（案）、その他
25	10	18	法人本部の土地及び建物の売却、法人本部の移転、その他
26	2	26	平成25年度第二次補正予算（案）、監事の選任、平成医療学園専門学校、横浜医療専門学校及びなほ歯科衛生専門学校の校長の選任、評議員の選任及び退任、法人本部の土地及び建物の売却（報告）、「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査」・「設置計画履行状況等調査」の結果（報告）、各学校の学生募集状況（報告）、その他
26	3	25	平成26年度予算（案）、平成26年度事業計画（案）、組織規程の一部改正（案）、平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科の設置（報告）、各学校の学生募集状況（報告）、その他

3 取得可能な学位又は称号

◆ 宝塚医療大学

学部	学科	学位
保健医療学部	理学療法学科	学士（保健医療学）
	柔道整復学科	学士（保健医療学）
	鍼灸学科	学士（保健医療学）

(注) 理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

また、所定のカリキュラムを履修することにより、柔道整復学科・鍼灸学科では教員免許（高等学校教諭一種免許状（保健体育））を、理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科ではアスレチック・トレーナー資格（JATAC-ATC）を取得可能。

◆ 平成医療学園専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	柔道整復師科	専門士（医療専門課程）
	鍼灸師科	専門士（医療専門課程）
	東洋療法教員養成学科	専門士（医療専門課程）
文化・教養専門課程	日本語学科	—

(注) 柔道整復師科・鍼灸師科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

また、所定のカリキュラムを履修することにより、柔道整復師科・鍼灸師科ではアスレチック・トレーナー資格（JATAC-ATC）を、鍼灸師科ではアロマセラピーアドバイザー資格を取得可能。

東洋療法教員養成学科では、あん摩マッサージ指圧はりきゅう教員資格を取得可能。

日本語学科では、日本での就学に対応できる日本語能力を習得可能（進学2年コースについては、専門士を取得できるよう今後申請予定）。

◆ 横浜医療専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	柔道整復師科	専門士（医療専門課程）
	鍼灸師科	専門士（医療専門課程）

(注) 柔道整復師科・鍼灸師科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

◆ なにわ歯科衛生専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	歯科衛生士学科	専門士（医療専門課程）

(注) 歯科衛生士国家試験受験資格に加え、所定のカリキュラムを履修することにより、介護職員初任者、移動支援従業者（全身性障がい）、移動支援従業者（知的障がい）の資格を取得可能。

4 学生生徒等納付金

◆ 宝塚医療大学

(単位：円)

理学療法学科	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000	—	—	—
授業料	850,000	850,000	850,000	850,000
施設管理費	400,000	400,000	400,000	400,000
実習費	250,000	250,000	300,000	300,000
合 計	1,800,000	1,500,000	1,550,000	1,550,000
柔道整復学科・鍼灸学科	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000	—	—	—
授業料	950,000	950,000	950,000	950,000
施設管理費	400,000	400,000	400,000	400,000
実習費	300,000	300,000	300,000	300,000
合 計	1,950,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000

(注) 上記のほか、学友会費、後援会費、同窓会費、白衣代、教科書代等の諸経費が必要となります。

◆ 平成医療学園専門学校

(単位：円)

柔道整復師科・鍼灸師科	1年次	2年次	3年次
入学金	250,000	—	—
授業料	870,000	870,000	870,000
施設管理費	240,000	240,000	240,000
教材費	200,000	200,000	200,000
学友会費	50,000	—	—
合 計	1,610,000	1,310,000	1,310,000
東洋療法教員養成学科	1年次	2年次	—
入学金	500,000	—	—
授業料	600,000	600,000	—
施設管理費	200,000	200,000	—
教材費	200,000	200,000	—
学友会費	50,000	—	—
合 計	1,550,000	1,000,000	—
日本語学科 医療福祉系1年コース	1年次	—	—
入学金	100,000	—	—
授業料	620,000	—	—
合 計	720,000	—	—

(単位：円)

日本語学科 進学1.5年コース	1年次	2年次	—
入学金	100,000	—	—
授業料	310,000	620,000	—
合 計	410,000	620,000	—
日本語学科 進学2年コース	1年次	2年次	—
入学金	100,000	—	—
授業料	620,000	620,000	—
合 計	720,000	620,000	—

(注) 上記のほか、白衣代、教科書代等の諸経費が必要となります。

◆ 横浜医療専門学校

(単位：円)

柔道整復師科・鍼灸師科	1年次	2年次	3年次
入学金	240,000	—	—
授業料	840,000	840,000	840,000
施設管理費	240,000	240,000	240,000
教材費	200,000	200,000	200,000
学友会費	50,000	—	—
合 計	1,570,000	1,280,000	1,280,000

(注) 上記のほか、白衣代、教科書代等の諸経費が必要となります。

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(単位：円)

歯科衛生士学科 昼間	1年次	2年次	3年次
入学金	100,000	—	—
授業料	640,000	640,000	640,000
実習料	160,000	160,000	160,000
教育充実費	100,000	100,000	100,000
同窓会費	20,000	—	—
合 計	1,020,000	900,000	900,000
歯科衛生士学科 夜間	1年次	2年次	3年次
入学金	50,000	—	—
授業料	590,000	590,000	590,000
実習料	160,000	160,000	160,000
教育充実費	80,000	80,000	80,000
同窓会費	20,000	—	—
合 計	900,000	830,000	830,000

(注) 上記のほか、白衣代、教科書代等の諸経費が必要となります。

5 卒業及び就職等の状況

卒業及び就職等の状況は以下のとおりです。

なお、宝塚医療大学は平成 23 年度開学で学年進行中のため、平成 25 年度の卒業者はありません。

◆ 平成医療学園専門学校

(平成 26 年 5 月 1 日現在、単位：名)

学科	卒業生数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
柔道整復師科 昼間部	75	51	1	15	8
柔道整復師科 夜間部	22	13	0	2	7
鍼灸師科 昼間部	58	47	0	2	9
鍼灸師科 夜間部	9	6	0	0	3
東洋療法教員養成学科	6	4	0	2	0
合 計	170	121	1	21	27

(注) 日本語学科は、平成26年度新設のため卒業生なし。

◆ 横浜医療専門学校

(平成 26 年 5 月 1 日現在、単位：名)

学科	卒業生数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
柔道整復師科 昼間	41	31	1	2	7
柔道整復師科 夜間	29	22	0	0	7
鍼灸師科 昼間	15	11	0	0	4
鍼灸師科 夜間	16	13	2	0	1
合 計	101	77	3	2	19

◆ なにわ歯科衛生専門学校

(平成 26 年 5 月 1 日現在、単位：名)

学科	卒業生数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
歯科衛生士学科 昼間	66	58	0	0	8

(注) 歯科衛生士学科夜間は、平成25年度新設のため卒業生なし。

6 国家試験の受験状況

国家試験の受験状況は以下のとおりです。平成25年度の新規卒業者のみの受験状況を示しています。

なお、宝塚医療大学は平成23年度開学で学年進行中のため、平成25年度の受験者はありません。

◆ 平成医療学園専門学校

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復師国家試験	97	90	92.8%	91.3%
はり師国家試験	67	61	91.0%	91.1%
きゅう師国家試験	67	62	92.5%	92.4%

◆ 横浜医療専門学校

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復師国家試験	70	68	97.1%	91.3%
はり師国家試験	31	30	96.8%	91.1%
きゅう師国家試験	31	30	96.8%	92.4%

◆ なにわ歯科衛生専門学校

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
歯科衛生士国家試験	66	65	98.5%	97.1%

III. 財務の概要

1 財政運営

本学園の財政運営に当たっては、経営の安定を図るとともに、健全な学園運営を行うために、学生生徒等納付金などの収入の確保と支出の削減を図り、経営の合理化・効率化に努めているところです。

本学園の平成25年度の決算は、以下のようになりました。

消費収入（支出）超過額は、昨年の△111,185千円から33,131千円となり144,316千円増加しています。

帰属収入は2,115,823千円で、前年度より7.5%の増となりました。主な内訳は、学生生徒等納付金2,016,830千円（11.4%増）、手数料25,565千円（8.2%増）、寄付金2,856千円（86.0%減）です。学生生徒等納付金の増加は、宝塚医療大学及びびなにわ歯科衛生専門学校の学年進行等によるものです。

一方、消費支出は2,082,692千円で、前年度より11.1%の増となりました。平成25年度は、法人本部の移転等を目的として、学校法人大阪産業大学から土地及び建物（大阪市福島区所在）を140,772千円で購入し、オリエントメディカルサービス株式会社へ法人本部の土地及び建物（大阪市北区所在）を150,000千円で売却しました。その結果、資金収支は9,228千円の増加となったものの、法人本部の土地及び建物の取得金額が294,695千円だったため、消費収支の資産処分差額は103,064千円となりました。他の主な内訳は、人件費1,235,795千円（5.2%増）、教育研究経費465,129千円（8.6%増）及び管理経費231,369千円（8.1%増）です。

本学園の総資産額は、土地及び建物の購入及び売却が適正になされたことにより、前年度より95,846千円増加し、8,715,911千円となりました。

2 資金収支計算書

(単位：千円)

科 目		平成25年度	平成24年度	平成23年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,016,830	1,811,212	1,531,995
	手数料収入	25,565	23,617	25,368
	寄付金収入	2,223	20,340	101,042
	補助金収入	26,096	24,636	25,084
	資産運用収入	17,188	5,338	4,788
	資産売却収入	150,000	0	0
	事業収入	23,974	26,371	17,726
	雑収入	3,314	1,710	716
	借入金等収入	0	0	1,163,256
	前受金収入	968,711	824,020	731,710
	その他の収入	510,997	444,556	273,926
	資金収入調整勘定	△ 834,723	△ 735,963	△ 601,200
	前年度繰越支払資金	1,482,246	1,356,136	1,299,357
収入の部合計		4,392,421	3,801,973	4,573,768
支出の部	人件費支出	1,229,074	1,171,914	1,072,134
	教育研究経費支出	309,439	270,453	226,353
	管理経費支出	224,199	207,162	259,000
	借入金等利息支出	30,658	31,314	31,665
	借入金等返済支出	116,467	111,372	989,533
	施設関係支出	147,639	3,900	218,294
	設備関係支出	48,791	88,176	157,429
	資産運用支出	54,653	106,050	10,662
	その他の支出	528,751	370,601	293,008
	資金支出調整勘定	△ 59,004	△ 41,215	△ 40,445
	次年度繰越支払資金	1,761,754	1,482,246	1,356,135
支出の部合計		4,392,421	3,801,973	4,573,768

3 消費収支計算書

(単位：千円)

科 目		平成25年度	平成24年度	平成23年度
収入の部	学生生徒等納付金	2,016,830	1,811,212	1,531,995
	手数料	25,565	23,617	25,368
	寄付金	2,856	20,340	101,042
	補助金	26,096	24,636	25,084
	資産運用収入	17,188	5,338	4,788
	資産売却差額	0	0	0
	事業収入	23,974	26,371	17,726
	雑収入	3,314	56,610	716
	帰属収入合計	2,115,823	1,968,124	1,706,719
	基本金組入額合計	0	△ 205,248	△ 215,568
消費収入の部合計		2,115,823	1,762,876	1,491,151
支出の部	人件費	1,235,795	1,174,506	1,108,824
	教育研究経費	465,129	419,907	361,145
	管理経費	231,369	214,054	270,195
	借入金等利息	30,658	31,314	31,665
	資産処分差額	104,611	410	136
	徴収不能額	15,130	33,870	75,690
消費支出の部合計		2,082,692	1,874,061	1,847,655
当年度消費収入（支出）超過額		33,131	△ 111,185	△ 356,504

4 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	6,780,014	7,022,030	△ 242,016
有形固定資産	6,456,651	6,693,876	△ 237,225
その他の固定資産	323,363	328,154	△ 4,791
流動資産	1,935,897	1,598,035	337,862
資産の部合計	8,715,911	8,620,065	95,846
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,606,782	1,706,252	△ 99,470
流動負債	1,152,210	990,025	162,185
負債の部合計	2,758,992	2,696,277	62,715
基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	6,005,704	6,053,304	△ 47,600
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	137,622	137,622	0
基本金の部合計	6,143,326	6,190,926	△ 47,600
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	△ 186,407	△ 267,138	80,731
消費収支差額の部合計	△ 186,407	△ 267,138	80,731
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	8,715,911	8,620,065	95,846

5 基本金

基本金の種類は、以下の4つに分類されています。

- 第1号基本金
学校法人が設立当初に取得した固定資産の価額又は新たな学校の設置や既設の学校の規模の拡大、教育の充実向上のために取得した固定資産の価額
- 第2号基本金
将来の固定資産の取得に充てるために、事前に計画的・段階的に積み立てる金銭等の資産の額
- 第3号基本金
奨学基金、研究基金等の基金として継続的に保持・運用する金銭等の資産の額
- 第4号基本金
恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣が定める額

平成25年度（平成26年3月31日決算）は、土地及び建物の売買等により、第1号基本金47,600千円を取り崩しました。土地、建物等は取得額で第1号基本金に計上しており、減価償却及び価格変動により差額を生じたことによるものです。

（単位：千円）

第1号基本金（今年度増減）	
土地	9,815
建物	△ 163,738
構築物	6,867
教育研究機器備品	3,242
その他機器備品	765
教具	△ 185
図書（除却高）	△ 141
車両運搬具	1,712
ソフトウェア	5,250
借入金返済に伴う組入高	86,437
未払金支払による組入高	2,376
合 計	△ 47,600

基 本 金	
前期繰越高	6,190,926
第1号基本金	6,053,304
第4号基本金	137,622
当期取崩高	△ 47,600
第1号基本金	△ 47,600
当期末残高	6,143,326
第1号基本金	6,005,704
第4号基本金	137,622

6 財産目録

(単位：千円)

科 目	平成 25 年度末	
一 資産額		
(一) 基本財産	6,780,014	
1 土地		
(1) 宝塚医療大学 校地	48,715.00 m ²	452,000
(2) 法人本部用地	147.12 m ²	88,272
(3) 平成医療学園専門学校 第一校舎校地	582.70 m ²	98,403
(4) 平成医療学園専門学校 第二校舎校地	663.19 m ²	228,219
(5) なにわ歯科衛生専門学校 校地	474.99 m ²	282,720
(6) 横浜医療専門学校 校地	910.18 m ²	526,920
(7) 運動場用地	347.38 m ²	170,000
計	51,840.56 m ²	1,846,534
2 建物		
(1) 宝塚医療大学 校舎	4,759.97 m ²	825,055
(2) 宝塚医療大学 講義室棟	4,439.63 m ²	557,519
(3) 宝塚医療大学 屋内体育施設	1,504.44 m ²	197,511
(4) 宝塚医療大学 学生棟	1,305.58 m ²	206,102
(5) 宝塚医療大学 守衛室	8.41 m ²	4,434
(6) 法人本部棟	869.07 m ²	50,799
(7) 看板		1,996
(8) 平成医療学園専門学校 第一校舎	1,709.51 m ²	245,715
(9) 平成医療学園専門学校 第二校舎	2,002.50 m ²	542,778
(10) なにわ歯科衛生専門学校 校舎	2,438.25 m ²	458,607
(11) 横浜医療専門学校 校舎	4,830.02 m ²	1,020,216
計	23,867.38 m ²	4,110,732
3 構築物	42,203	
4 図書	21,785 冊	105,352
5 教具・校具及び備品	11,364 点	346,782
6 機械装置	2,810	
7 車輛	2,237	
8 ソフトウェア	5,316	
9 保証金・敷金	27,692	
10 有価証券	41,766	
11 長期貸付金	230,776	
12 積立金	17,792	
13 出資金	1	
14 預託金	21	

(二) 運用財産		1,935,897
1 預金・現金		1,761,754
(1) 現金		4,926
(2) 普通預金		1,701,819
(3) 定期預金		55,009
2 有価証券(流動)		150,000
3 短期貸付金・立替金・仮払金		7,569
4 不動産		0
5 貯蔵品		0
6 未収金		10,703
7 前払金		5,871
(三) 収益事業用財産		0
合 計		8,715,911
二 負債額		
1 固定負債		1,606,782
(1) 長期借入金		1,545,231
商工中金		308,860
紀陽銀行		386,810
池田泉州銀行		154,675
りそな銀行		380,206
りそな銀行		314,680
(2) 退職給与引当金		56,369
(3) 長期未払金		5,182
2 流動負債		1,152,210
(1) 短期借入金		111,372
(2) 前受金		968,711
(3) 未払金		46,908
(4) 預り金		25,219
合 計		2,758,992
三 借用財産		
1 土地	25.64 m ²	601
2 建物	0.00 m ²	0
合 計		601

7 主な財務比率

比率名	算式 (×100)	比率
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	58.4%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	61.3%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	22.0%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.9%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	1.4%
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	1.6%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	98.4%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	95.3%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.1%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	1.2%
減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	7.7%

8 施設設備の整備状況

平成25年度の主な施設設備の整備状況については、以下のとおりです。

法人本部の移転等を目的として、学校法人大阪産業大学から土地及び建物（大阪市福島区所在）を購入するとともに、オリエントメディカルサービス株式会社へ法人本部の土地及び建物（大阪市北区所在）を売却しました。

宝塚医療大学では、グラウンドの走路、走り幅跳びで使用する砂場、器械運動で使用する鉄棒、国家試験対策等で使用するマークシートリーダー機器一式を整備しました。さらに、大講義室と中講義室（2室）に、双方向で映像及び音声をやりとりできる映像システムを整備しました。

平成医療学園専門学校では、椅子120脚の更新を行いました。

横浜医療専門学校では、校舎の2階を改修し、3教室を増設しました。また、残り部分は予備教室として両科共有で有効活用できるよう整備を行いました。

なにわ歯科衛生専門学校では、椅子160脚の更新、歯科用ユニット2台の追加設置を行いました。

今後とも、教育研究環境の充実のために、施設設備の整備に努めてまいります。